

## 井料瑠美 待望のファーストアルバム 『コノハナノサクヤヒメ』をリリース

井料瑠美、初のアルバム「コノハナノサクヤヒメ」を2015年11月3日（火）にリリースいたします。美しく、儚く、そして強く、気高い女神。  
この清冽な女神の物語を全編オリジナル楽曲で紡ぎます。

### 【アルバム 『コノハナノサクヤヒメ』】

時はいにしえ。神々の御世。躍動する神々の物語を書き記した「古事記」日向神話の中で、今へと続く天孫のお話『ニギノミコトとその美しい妻コノハナノサクヤヒメ』このアルバムでは、木の花のように美しく、儚く、水のように清らかで、それでいて燃え盛る業火の産屋での天孫の出産を果たした『コノハナノサクヤヒメ』の物語をオリジナル楽曲で綴ります。

#### <収録楽曲>

#### 1. 『コノハナノサクヤヒメ～いにしえの思い出』

作詞：金箱帯 作曲：Yuria Miyazono

午睡の最中、風の音、川のせせらぎの音、鳥のさえずり、さまざまな自然の音とともに、臆げな思い出に誘（いざな）われます。それは遙か、いにしえの記憶。その記憶に呼ばれ、想いは「コノハナノサクヤヒメ」の世界へそして、故郷、日向へと羽ばたきます。

#### 2. 『輪廻』

作詞：井料瑠美 作曲：歌里涼

*古に咲くやこの花冬籠り いま世春べと咲くやこの花*

コノハナノサクヤヒメ。桜のように美しく、刹那で散りゆくその姿は、季節が巡るたびに、輪廻転生を繰り返し、美しく花開きます。命の回帰性をこの歌に託しました。

#### 3. 『火の女神』

作詞・作曲：歌里涼

ニギノミコトとの契りを交わしたコノハナのサクヤヒメ。自ら火をかけ、燃え盛る産屋での出産を果たした火の意志を持つ女神のこころを歌います。

#### 4. 『出逢い～語り』

出典：古事記 作曲：Yuria Miyazono

ニギノミコトとコノハナノサクヤヒメの出逢いの物語を紡ぎます。

## 5. 『火の鳥花の精』

作詞・作曲：歌里涼

火の意志を持つ女神は水を鎮めるごとくに、ニギノミコトへの清らかな想いを湛えます。

## 6. 『火の命～語り』

出典：古事記 作曲：Yuria Miyazono

自ら産屋に火を放ち、燃え盛る業火の中での出産の物語を紡ぎます。

## 7. 『千歳 百歳～金色の水』

作詞：井料瑠美 作曲：中川果林

桜の花は、花咲くほどに咲き誇り、ますますの繁栄を誇ります。

たとえ、季節が過ぎ枯れ行くとともに、季節が巡り、また春ともなれば、花開きます。命の永遠性をこの歌に託しました。

## 8. 『コノハナのサクヤヒメ～うつしよの記憶』

作詞：金箱帚 作曲：Yuria Miyazono

夢と現（うつつ）の間。コノハナノサクヤヒメの記憶と融合した魂は、回帰性と永遠性をともにし、天と大地の祝福に包まれます。そして、いつの間にか、過去と現在の時間を越えて、両者はひとつとなり、穏やかな午睡の時間へと戻って行くのでした。

### 【なぜ、今、コノハナノサクヤヒメなのか】

712年に編纂された日本で最古の歴史書。「古事記」。

それは遠い、おとぎ話でもなく、空想、架空のお話でもありません。日本人のルーツ。自らの過去、先人そして先祖が生きた証。そう悟った瞬間に、1300年の時を越えて歴史はたいへん身近なものに感じます。

「古事記」には、躍動する魅力溢れる、たくさんの神々が登場いたします。

その中において、今へと続く天孫は「ニギノミコトとコノハナサクヤヒメ」のストーリーを避けては語る事が出来ません。

「コノハナノサクヤヒメ」は常にその美しさ、そして儚さが強調される女神。だからこそ、本来持ち合わせる火の意志を湛えた力強い二面性を描きたかったのです。

それが元来生まれ持つ、日本人のDNAには深く刻み込まれていると感じております。

### 【発売情報】

発売予定日：2015年11月3日

発売元：JP Entertainment 定価：3,000円（税込）

ウェブストア『文化家』にてお取扱いいたします。

お問合せ：株式会社ジェー・ピー

TEL：03-3523-5850（平日10：00～17：00）

または、下記お問合せフォームより、『文化家』までお問合せください。

<https://bunkaya.jp/contact/index.php>

\*発売日・タイトルが変更になる場合がございます。予めご容赦ください。